

Tamana JC public relations magazine 2019

JCI

Vol. 10

いだてん

信念を持って突き進む
～新しい時代のJAYCEEへ～



今月のラインアップ

- 出張先生
- S D G s





出張先生
無限の可能性
～夢は明日への原動力～



前田先生

最初に話を頂いた時は、農業で授業なんて難しいなと思いましたが、小学生に分かりやすく教える為に、事細かく仕事を分解していく内に自分のやっている仕事を見つめ直す事ができ、よいきっかけになりました。また、講義が45分の授業でしたが45分間一方的に話をした事がなかったので、教師の方の仕事は大変だなと感じました。逆に私の方が勉強になりました。



山本先生

理事長を始めメンバーの皆様、準備・リハーサル・本番と大変お世話になりました。この場を借りて御礼申し上げます。人前で話すのが初めてでとても緊張しました。出張先生をした事で改めて自分の仕事を見つめ直す事が出来、子供達に伝える事の難しさを勉強させて頂きました。実習授業で椅子を造り、物造りの大変さが子供達に伝わって良かったです。これを機に、大工になってくれる子が増えたら嬉しいです。





山元先生

今回地域教育事業において講師を務めさせて頂き、子どもたちに仕事と地域との関わりや、失敗を恐れず挑戦し続ける事の大切さをお話しさせて頂く中で、改めて自らの仕事と向き合い、自分自身を見つめ直す事のできる貴重な経験となりました。今回の事業での経験を今後を活かし、何事にも挑戦し続けて行きたいと考えます。



井手先生

この度の出張先生は、相手が小学生ということもあり、準備がなかなか難しかったですが、多くの方のご助言のおかげでどうにかできました。模擬裁判も、メンバーの協力もあり無事進めることができました。大家君が有罪になってしまったことは心残りでしたが、よい経験ができました。



小島先生

10月28日 10:50 伊倉小学校にて開催されますので
よろしくお願い致します！

メンバーの皆様、昼の事業開催にも
関わらず沢山のサポートありがとうございました！ 委員長 大家 聖矢



●SDGs とは

持続可能な開発目標 (SDGs) とは、2001 年に策定されたミレニアム開発目標 (MDGs) の後継として、2015 年 9 月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」にて記載された 2016 年から 2030 年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための 17 のゴール・169 のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さない (leave no one behind) ことを誓っています。SDGs は発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル (普遍的) なものであり、日本としても積極的に取り組んでおり、日本青年会議所は、日本で最も SDGs に取り組む団体を目指されております。玉名青年会議所においても、本年度より各事業の事業計画書の中において SDGs のゴールとターゲットを取り入れることで、持続可能な玉名地域を目指しております。

●17 の目標

1. 貧困をなくそう 2. 飢餓をゼロ 3. 全ての人に健康と福祉を 4. 質の高い教育をみんなに
5. ジェンダー平等を実現しよう 6. 安全な水とトイレを世界中に 7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに 8. 働きがいも経済成長も 9. 産業と技術革新の基盤をつくろう 10. 人や国の不平等をなくそう 11. 住み続けられるまちづくりを 12. つくる責任、つかう責任 13. 気候変動に具体的な対策を 14. 海の豊かさを守ろう 15. 陸の豊かさを守ろう 16. 平和と公正をすべてのひとに
17. パートナリーシップで目標を達成しよう

●169 のターゲット

17 の目標の中には、付随するターゲットがあります。項目が多いので、以下を参照するとわかりやすくまとめてあります。<https://imacocollabo.or.jp/about-sdgs/17goals/>

●SDGs の本質

SDGs の本質は 17 の目標は相互に関連しており、それを包括的解決することが本当の意味で解決に向かうとも言われています。つまり、数学で言えばそれぞれの目標が x 、 y 、 z で、それを同時に解く $xy+2z=abc$ という連立方程式のようなものです。そのため、SDGs に関連する世界で起こっている問題や課題、今後世界がどういった方向に進んでいこうとしているのかという全体像を把握し、それぞれがお互いに繋がっている、という感覚を持つことが大切です。さらに、そのつながりの中に、途上国で作られた製品を消費する消費者の一人として、私たち自身もつながっていて、私たち自身の小さな選択が SDGs 達成に影響しているということに自覚することが重要です。ⁱ

●個人レベルでの取り組みとは

「目標 12：つくる責任 つかう責任」にあるように、過剰生産を減らすためには、流通や販売の段階で廃棄されてしまう食品を減らすことも大事ですが、最終消費者である私たちが、例えば、ふだん買い物をする時に使いきれぬ量 (食べきれぬ量) を購入する、外食する際にも食べきれぬ量を注文するなど、日々心がけることも大切です。ⁱⁱ「本日の懇親会は食べ残しが無くなるように気を付けてみてはいかがでしょうか。」

ⁱ SDGs (持続可能な開発目標) 17 の目標&169 ターゲット個別解説

<https://imacocollabo.or.jp/about-sdgs/17goals/>

ⁱⁱ SDGs の基礎 (その 7) 私たちに何ができるか! 一人ひとりが考えるべきことは? (大和総研 太田珠美) <https://www.j-cast.com/kaisha/2019/02/05349595.html?p=all>

